

「希望」を生きる聖年。閉幕から始まる使命



聖年閉幕ミサ

2025年12月28日、大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂において、聖年閉幕ミサが挙行された。当日は1,000人を超える信徒が参集し、聖年の恵みに感謝をささげつつ、厳肅にミサが執り行われた。聖堂内は小聖堂や右近「ナー」に至るまで会衆で満たされた。

前田万葉大司教は説教の中で、2025年の通常聖年が「聖家族として希望の巡礼」をテーマに始まり、巡礼指定教会への巡礼、さらには他教区・他国への巡礼を通して、全免償の恵みに与つたことへの感謝を述べられた。また、大阪・関西万博と連動した芸術・音楽企画が、新しい福音宣教の機会となつたことにも触れた。さらに、ともあゆの希望の旅や聖家族、去年今年貫く棒やシノダリティと詠み、シノダリティ…

すなわち、家族としてともに歩むこと…の実践へと招き、シノドス（とともに歩む教会）の完成への希望を示された。

ミサの最後には、聖年の恵みに感謝して賛美の賛歌「テ・デウム」が歌われ、全教会とともに深い感謝がささげられた。

ミサ終了後には、聖年閉幕コンサートが開催され、12組の有志により、聖年の閉幕に感謝をささげる樂曲が披露された。独唱や器楽演奏、また団体による合唱など、さまざまな形で、聖年の恵みへの感謝が表現された。



閉幕コンサート（玉造教会）



聖年閉幕ミサ・コンサート

2026

発行所
大阪市中央区玉造2-24-22
カトリック大阪高松大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700(代表)
TEL (06) 6946-3223(直通)
FAX (06) 6946-3224(直通)
E-mail: kyokuho@ostk.catholic.jp
編集 広報委員会
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訊」
ご希望の場合は
下記まで申込み——
「点訳版(点字本)」
[E] 06 6946-3224(直通)
「音訊(テープ・ディジタル)」
[E] 06 6946-2244(直通)
「音訊(テープ・ディジタル)」
[E] 山口さん ☎ 0798-22-1649

桜町教会創立70周年記念ミサ
門真教会創立70周年記念ミサ
池田教会(阿波)献堂式
司牧者からこの一冊

☆☆☆☆
△ 聖年感謝ミサが
行われる

(3面) (2面)

☆☆☆☆
社会福音化部門基調講演
聞かせてください、神様と出会った時のこと
ファミリーの集い

(5面) (4面)
『教区報』原稿・資料等の締切は
前々月末です。

高松でも 聖年感謝ミサが 行われる

2024年12月29日に始
まつた聖年「希望の巡礼者」

は、2025年12月28日に閉幕したが、教区の閉幕ミサは大阪高松聖マリア大聖堂で行われたため、桜町教会では聖年に感謝するミサを行つた。当日は聖家族の祝日だったため、結婚の更新、家族の祝福があわせて行われた。

ミサ後には聖年に感謝する鏡開きを行い、1年間たくさんの巡礼団のお接待を木槌で開かれ、希望する方にお祝いの酒として配られた。鏡開きの様子をフェイスクブックとユーチューブで紹介しているので、是非お楽しみください。

一年の活動

聖年は、2024年12月24日にバチカンのサン・ピエトロ大聖堂の聖なる扉が開かれることから始まり、2026年1月6日に聖なる扉が閉じられるまで、「希望の巡礼者」をテーマに、癒しと救しの一年として行われた。地方教会で

聖年・万博委員会（以下、関西万博を教区内で意義深く分かち合うことを目的として、2024年4月に前田万葉大司教を中心として設置され、多様な経験を持つメンバーで構成された。

聖年と大阪・関西万博を通して多くの人がより良い体験ができるよう、会議を開ねてきた。また、多くの人が巡礼者となり、2023年に新設された大坂高松大司教区内を巡礼し、交流を深める機会を設けることとした。

大阪・関西万博のバチカンパビリオンは、結果的に連日待ち時間が2時間を超えるほどの盛況となり、万博会場の中でも注目を集めた。カラヴァッジョ作「キリストの埋葬」をより深く知つてもらうため、5月10日と7月20日の二回にわたり講演会が開催された。また、「二十六聖人聖画等プロジェクト」と協力し、6月15日～9月15日まで、カトリック大聖堂のパウロの部屋において、岡山聖虚作二十六聖人聖画のうち「聖ディエゴ喜齋」「聖フランシスコ吉」の原画展示を行つた。

これらは、1931年に教皇ピオ十一世に献納された。万博会場から乗り換えた。万博会場から乗り換えた。万博会場から乗り換えた。

聖年と大阪・関西万博は終わったが、2025年の一年を通して与えられた大

地もあり、ある意味で大

す。

ミサの際に、有志による開幕おおよび閉幕のコンサートも行われた。ま

た、5月31日には青年によ

る聖年のためのコンサートが実施され、聖年の期間中、カテドラルでは多くの歌声による祈りがささげられた。また、演奏会も開催された。12月20日には、バチカンパビリオンアンバサダーを担つた、指揮者の西田智実さんが、合唱団とオーケストラとともに聖年コンサートが開催された。

コ

ン

サ

ー

ト

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

コンカテドラル桜町聖堂 納骨者追悼祈念ミサ・墓参



2025年11月26日、桜町教会で開催された司牧者研修会において、帰天司教・司祭および納骨者追悼祈念ミサが行われた。前田万葉大司教のほかあわせて8人の司祭・終身助祭がともに司式されたミサには、約20人の信徒が参加した。



司教納骨所に眠る3人の司教へ献香

説教の後、聖堂の脇祭壇にある司教納骨所と四国カトリック会館地下聖堂にある納骨所での灌水・献香が行われた。ミサ後は四国カトリック会館での昼食会の後、解散となつた。

前田大司教は説教で、朗読されたローマ人への手紙

の一部、「生きるにしても死ぬにしても、私たちは主のもの」は信仰宣言で言えば「聖徒の交わり」であると説明され、11月を「復活のいのち信仰死者の月」と詠まれた。そして「聖徒の交わり」



納骨所で献香する大司教

（文 桜町教会信徒
長谷川 聖）

とは、亡くなつた人もこの世の人も神のうちに皆一つということであり、聖徒の交わり、罪の赦し、身体の復活、永遠の命を信じる私たちは、死んでも慰めと希望を持つことができ、亡くなつた後も、親や兄弟、恩人、友人、知人への恩返しなど、交わりを続けることができる」と述べられた。

（文 桜町教会信徒
長谷川 聖）

桜町教会 祝創立70周年

つなごう 信仰のともしびを



記念ミサでともに祈る

桜町教会は1955年12月1日に番町教会（1921年創立）から分離独立する形で創立された。当初聖堂がなかつたが1957年に現在の聖堂が献堂され、1963年の旧高松教区創立以降は司教座として歩んでいた。同司教座として歩んでいた。酒井司教は説教で、信仰のともしびをつなぐバトンタッチについて述べられた。私たちが持つているバトンはイエス・キリストであること、また、バトンタッチではお互いのスピードをあわせることができて、受

け取る側である青年を信じて青年に委ねることを述べられた。マリア会が準備を整えた祝賀会では、フィリピン、ベトナムの郷土料理が振る舞われ、歴代担当司祭からいただいたビデオメッセージを上映したほか、歌やダンスで大変



手話で「希望の巡礼者」を歌う

門真教会 祝創立70周年ミサ



世代を越えて集った、門真教会70年の感謝

特色

門真教会は1955年にクリチアノ宣教会により設立されました。門真市は松下電器の街として発展し、教会設立当初は松下電器やその子会社で働く九州・特に長崎出身の信者さんが大部分を占めましたが、近年はフィリピン・ベトナム国籍の信徒も増え国際的な共同体となっています。

京阪電車門真駅からほど近い商店街に面しており、隣りには大阪愛徳幼稚園があります。



門真教会 全体写真

2025年11月30日にカトリック門真教会において、前田万葉大司教式で小教区創立70周年を祝うミサが盛大に行われた。この日は待降節第一主日に当たりましたが、70周年の祝いとともに4人のこどもの初聖体も行われた。前田大司教は説教の中で、国際色豊かな参加者に向か

い、門真教会が（日本人もフィリピン人もベトナム人も）、すべての国の人たちが共に歩むシノドス的教会を目指すよう励ました。また、初聖体のこどもたちには、御聖体のなかにお

式には長い間、隣接の大坂愛徳幼稚園の運営と門真教会の司牧・信徒養成に協力してこられた愛徳カルメル会のシスターたちが、遠くは静岡県の島田修道院からも参加されるなど、総勢210人でございました。

ミサ後にはホールで祝賀会が開かれ、信徒の方々は当日参列した懐かしい司祭・シスターたちと、この70周年の喜びを心ゆくまでわかつあうことことができた。

（文 しろきたブロック・モデラトル 長崎 壮）

ミサ後にはホールで祝賀会が開かれ、信徒の方々は当日参列した懐かしい司祭・シスターたちと、この70周年の喜びを心ゆくまでわかつあうことことができた。



（文 桜町教会信徒
長谷川 聖）

盛り上がった。
また、70周年の記念品として作成した「記念誌カード、しおり、クリアファイル」を参加者に進呈した。

小春日の初聖体や門真の子

◆ 守護 聖マリアの汚れなき信心
◆ 住所 門真市本町5-16
◆ 設立年月日 1955年
◆ 信徒数 472人
◆ ホームページ



和歌山地区で宣教され
います。

現在は再び教会に集ま
れますが、YouTubeは病
気や遠方で外出が難しい
方々をも繋ぐ大切な窓口
となっています。教会の壁
を越え、私たちが「一つの
大きな家族」であることを
感じさせてくれる、素晴らしい
道具として定着して
います。

現在は再び教会に集ま
れますが、YouTubeは病
気や遠方で外出が難しい
方々をも繋ぐ大切な窓口
となっています。教会の壁
を越え、私たちが「一つの
大きな家族」であることを
感じさせてくれる、素晴らしい
道具として定着して
います。

コロナ禍で教会に集ま
る、また心に残った書籍等
を司祭紹介を兼ねて掲載。
今回は、サワリムットウ・
ステイフェン神父が担当。
サワリムットウ・ス
ティフェン神父から
祈りの場」となりました。
日曜日のミサに行けな
い不安の中、司祭や修道者
が配信を始め、信徒は画面
越しに共に祈り、心で主を
迎える「靈的聖体拝領」を
通して神様との繋がりを
保ちました。また、ミサだけ
でなく「み言葉の分かち
合い」や聖書の勉強会も動
画で行われるようになり、
自分のペースで繰り返し
学べることで、信仰を深め
る新たな機会が生まれま
した。

【プロフィール】
サワリムットウ・ステイフェン神父
2012年 終生誓願、助祭。
2013年 叙階式後、8月に初来日。
2015年 名古屋で日本語学校卒業後、福岡教
区古賀教会で協力司祭（九州幼児教育セン
ター・モンテッソーリ教員養成コースを卒業。
2018年 徳島地区一鳴門、阿南教会の担当司祭。



日々の祈りに役立つ YouTube チャンネルを、カトリック信徒の皆さまに向
けて、いくつかのカテゴリーに分けてご紹介します。

【教区・教会の公式チャンネル】

多くの教区や教会が、主日のミサのライブ配信や、
大司教・司祭によるメッセージを配信しています。
カトリック何々教区か教会と調べれば出てきます。
例えば①カトリック大阪高松教区と調べてください。

【講話・信仰理解を深めるチャンネル】

聖書解説やカトリックの教えを分かりやすく
学ぶためのチャンネルです。

- ②カトリック聖パウロ修道会
- ③カトリック成城教会ビデオ配信
- ④カトリック都筑教会 公式チャンネル

【社会との関わり・正義と平和】

カトリックの価値観に基づいて、社会問題や平和に
について考えるためのチャンネルです。

- ⑤カトリック正義と平和チャンネル

【世界の教会の動き（バチカン）】

バチカンニュース
⑥Vatican News（特徴：バチカン〔教皇〕
の公式ニュースチャンネルです。
日本語の吹き替えや字幕の動画もあり、教皇様の活動や
世界中の教会のニュースを知る。）



12月21日、徳島県三好市の池田教会
で、酒井俊弘補佐司教の司式による獻
堂式が行われた。六人の司祭と八つの
教会から百人余りの人が参加した。

感謝に満ちて

共に新しい歩みを踏み出した喜びのひととき



阿波
・池田教会献堂式
12月21日、徳島県三好市の池田教会
で、酒井俊弘補佐司教の司式による獻
堂式が行われた。六人の司祭と八つの
教会から百人余りの人が参加した。

朝から小雨が降っていました
したが、午後一時からの式
の前には曇空になり、全員
聖堂の外に立ち、扉の鍵が
建設者から司教の手に、そ
して主任司祭の手に渡され
ました。

扉が開かれ聖歌を歌いな
がら中に入ると、十字架の
イエス様の像と正面のステ
ンドグラスの美しいマリア
様が目に入れます。

式は開祭、ことばの典礼、
奉獻の祈りと塗油、感謝の
典礼と進み、教会が新しく
あたつて多大なご
尽力をいただきま
したイスマエル・
ゴンザレス神父様



（文 池田教会 住吉才子）

教区内の司祭が記憶に残
る、また心に残った書籍等
を司祭紹介を兼ねて掲載。
今回は、サワリムットウ・
ステイフェン神父が担当。
サワリムットウ・ス
ティフェン神父から
祈りの場」となりました。
日曜日のミサに行けな
い不安の中、司祭や修道者
が配信を始め、信徒は画面
越しに共に祈り、心で主を
迎える「靈的聖体拝領」を
通して神様との繋がりを
保ちました。また、ミサだけ
でなく「み言葉の分かち
合い」や聖書の勉強会も動
画で行われるようになり、
自分のペースで繰り返し
学べることで、信仰を深め
る新たな機会が生まれま
した。

コロナ禍で教会に集ま
る、また心に残った書籍等
を司祭紹介を兼ねて掲載。



Vol. 15

ているデニ・ワユディ神父様は、YouTubeチャンネル(denny wahyudi)にて、毎日の「みことばの祭儀」の動画を配信されています。朝のミサに教会まで足を運ぶのが難しい方々にとって、特におすすめの内容です。

「みことばの祭儀」と検索すれば、どなたでもご覧いただけます。私自身もデニ神父様に励まされ、現在は南インド料理の紹介だけでなく、「カトリック神父の日々の生活」という二つのテーマで、教会の日常や信仰に関する動画をアップするようになりました。新しい時代の宣教として、YouTubeでの発信と共に支えていきましょう。

動画を通じてみ言葉に触
れ、信仰の喜びを一つにし
ていきましょう。

在は南インド料理の紹介だけではなく、「カトリック神父の日々の生活」という二つのテーマで、教会の日常や信仰に関する動画をアップするようになりました。新しい時代の宣教として、YouTubeでの発信と共に支えていきましょう。

動画を通じてみ言葉に触
れ、信仰の喜びを一つにし
ていきましょう。

宗教間の出会いと学び



回を重ねるたびに理解が深まる

講話

第2回は12月19日、大阪高松大司教区の司教館（玉造）にて、F神父（イエズス会）を講師に迎え、「一日五度、心を神に向ける」をテーマにイスラム教の礼拝（サラート）について学んだ。3年前に続いている。サラートは日々神とのつながりを新たにする営みであり、身体の動きや静けさの中に深い意味が込められている。参加者からの質問も活発で、イスラームへの理解が一層深まった。

岡本敬子支部長と会員の皆さまに迎えられ、祈りの実践、教える背景、歩みについて丁寧に紹介していただいた。カトリックの祈りの分かれ合い、祈りの場の案内、質疑応答などを通して、平和への真摯な願いとその精神的基盤に触れることができた。

（文 諸宗教対話委員会委員長
ロッコ・ビビアーノ神父）

いずれの企画も、誠実な対話と温かい交流に満ち、参加者からは「直接学べてよかったです」、「宗教の多様性を身近に感じた」といった声が寄せられた。

次回は2026年1月17日、大阪天満宮での訪問と対話体験を予定しており、さらに、2月には天台宗について学ぶ企画も検討しています。

今後も宗教間の出会いを大切にしながら活動を続けていきます。

「性虐待被害者のための祈りとつぐない」 第7回 テゼによる祈りの集い

日 時：2026年3月7日(土) 14時～15時

場 所：サクラ ファミリア

(大阪市北区豊崎3-12-8 TEL: 06-6225-8871)

祈 り：テゼと聖書による祈り

テゼの祈りは、短く覚えやすい祈りの歌を、何回も繰り返すことによって、心の奥にしみこむ祈り、体全体の祈り、人びとをつなぐ祈りとなっていきます。

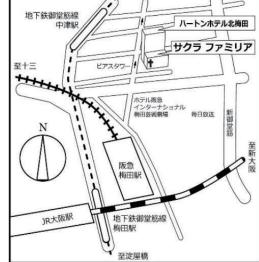
教皇フランシスコは「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けることを2016年に決定しました。日本の司教団は教皇の呼びかけにこたえ、その日を四旬節・第二金曜日に定め、教区では大司教が前後の日曜日にミサをささげるよう、よびかけられました。

大阪高松教区としても被害者の皆さまの苦しみを受け止め、キリストの教会として誰もが大事にされ、安心できる共同体になるための集いの開催を望み、年2回祈りの集いを行っています。

今年度も引き続き祈りの集いを企画しました。

子どもと女性をとりまくさまざまな問題を通して「神からいたいたいのち」をもう一度深く味わい、人を傷つけ、いのちの輝きを奪うことのないよう謙虚な気持ちでたたずみ、傷つき苦しむ人のいのちが再び輝きを放つよう祈る時間を持ちたいと思います。

どなたさまもご自由にご参加ください。



主 催：カトリック大阪高松大司教区

ハラスメント対応委員会

問合せ：教区本部事務局 (06-6941-9700)

諸宗教対話委員会 訪問・講話

2025～26年度の諸宗教対話委員会の活動は、昨年12月に二つの特色ある企画から再開された。参加者が対話を通じて理解を深める、貴重な機会となつた。今回もカトリック信徒だけではなく、他教派のキリスト者や他宗教の方々も参加し、普遍的な広がりを感じる集いとなつた。

訪問

第1回は12月6日、大阪市西区の白光真宏会（ひらこうまほうかい）大阪支部を訪問しました。

諸宗教の対話は貴重な機会となる

白光真宏会は1955年に五井昌久氏によって創立された新宗教で、国内外の平和を願う祈りを中心に活動している。

社会活動センター・シナピス（社会福音化部門事務局）

社会福音化部門のつどい



2025年11月22日、四国カトリック会館で「社会福音化部門のつどい」を行った。3連休の初日だったが、予想をはるかに超える40人以上が集い、盛会となつた。

「もっと社会に関わる教会となるには」をテーマとした講話で、酒井俊弘司教は次の点を強調された。

①教会は社会の一部…教会の外へ、共同体の意識を地域社会へ開かない限り、社会からは認めてもらえない。②社会活動をする人たちが福音的になろう…社会の大きな問題を前に、大海の一滴として目の前の人に関わる自覚。その中で自分の内面は常に成長期で、福音的な社会活動は自分磨きでもある。③教皇フランシスコの遺産…すべてを解決できなくても、助けを求める人と同伴することで、ともしびとなる。④教皇レオ14世が目指すもの…主の声を聴き、互いに聴き合い、この対話の中で、主が私たちをどこへと呼びかけているのか見極める。⑤日韓司教交流会での李司教の説教…「船は停泊している時が最も安全だが、停泊するために造られたものではない。船は荒れた波を乗り越え、海を進むために存在している。港に停泊している船は決して目的地に達することはできない。何もしなければ何も起こらない。私たちは留まっていてはダメで、一緒に航海を続けなければならない」。

講話を受けた靈における会話は、自分のこと、教会や社会で感じることを率直に語る参加者の言葉によって、豊かな時間となった。

参加者からは「教会を通しての社会との関わり、つながりや働きかけの大切さを実感した。共に歩むことへ、自分なりの行動へと勇気をもらった」「多くの気づきと有意義なわかちあいの時を過ごすことができた。このわかちあいを活かした活動を、個人としても共同体としても、多くの方との交流の中で実現したい」という感想があった。

シナピスとして、今回、社会に関わる信仰を求める四国の皆さんと出会えたことは大きな喜びで、こうしたつどいを、高知や愛媛でも開きたいとの思いを強くした。

（文 社会福音化部門事務局 大森 雄二）



※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催

諸宗教対話活動 2025年度

◆第4回 仏教との対話 「天台宗の基礎と特色」

日時 2/6(金)18:30~20:00
場所 教区司本部事務局 1階

おはなし 鍋島隆清副住職
(天台宗 本吉山清水寺)

主催・問 諸宗教対話委員会
☎06-6941-9700

✉ird-ecm@ostk.catholic.jp

福音者ユスト高山右近殉教者

◆列聖祈願のつどい

【第一部】講演 デルカ・レンゾ神父(イエズス会・日本二十六聖人記念館館長)「右近の信仰、生き方が現代の私たちに伝えるメッセージ」

【第二部】列聖祈願ミサ

日時 2/7(土)13:30~16:30
場所 サクラ ファミリア

共催 列聖推進委員会・右近と歩む会
問 ☎06-6941-9700

サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと～エマオへの道で【特別編】◆おはなし 西 経一神父(神言会)
日時 2/21(土)14:00~15:30

コレーン神父の聖書講座◆
「A年の主日のみことばに生かされる」

日時 2/9・3/9(月)13:30~15:00

和田幹男神父◆聖書研究講座「新約聖書概論」

日時 2/18・3/18(水)10:30~12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)

日時 2/2・2/9・3/2・3/9(月)
17:00~18:30

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を

日時 毎月17日19:00~19:30

問 サクラ ファミリア
☎06-6225-8871
✉f.sacra@ostk.catholic.jp

2/11(水・祝)・2/16(月)臨時休館

結婚準備講座

夙川教会

日時 2/7(土)~2/28(土)
16:00~17:30

次回3/1(日)~3/22(日)
14:00~15:30

参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎0798-22-1649

六甲教会

日時 2/1(日)~2/22(日)
14:00~16:00 (4回)

参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎078-851-2846
✉renraku@rkk-catholic.jp

※事前要問合せ(年2回)

默想会

宝塚黙想の家

◆日帰り黙想会

日時 2/26(木)・2/27(金)

10:00~15:30

指導 染野治雄神父(2/26)

山内十束神父(2/27)

参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会

日時 2/13(金)17:00~
2/14(土)15:30

指導 染野治雄神父

参加費 ¥9,000

◆新約聖書の世界への旅

日時 第1(月)19:00~

指導 山内十束神父

◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・3(水)10:00~12:00

指導 山内十束神父

参加費 ¥1,000

◆カトリック教会のカタキズム

日時 第1・3(水)10:00~12:00

指導 染野治雄神父

参加費 ¥1,000

◆柱の黙想

日時 第2(木)10:00~12:00

指導 山内十束神父

参加費 ¥1,000

◆教会の教えと歴史

日時 第4(木)10:00~12:00

指導 山内十束神父

参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

女子御受難修道会◆御受難兄弟会

日時 2/14(土)10:00~16:00

指導 來住英俊神父(御受難会)

参加費 ¥3,500

主催・問 女子御受難修道会

☎0797-84-7863 ☎0797-84-7864

締切り 2/11

講座・研修会

シノドス流の教会を求めて

◆シノドス最終文書と「新生の明日を求めて」の読書会

日時 2/21・3/21(土)

13:30~15:00

場所 四国カトリック会館

主催・問 四国カトリック会館

☎087-831-6659

絵本と聖書を語ってみましょう◆絵本と聖書の世界を身近に感じて活かす

日時 2/13・3/13・4/10(金)

19:30~21:00

場所 ZOOMオンライン

イン開催(QRコードより入室)

主催・問 松浦信行神父

☎087-831-6659

日本カテキスタ会 公開講座◆

第二バチカン公會議公文書を学ぶシリーズ10『現代世界憲章』

講師 ①高見三明名誉大司教(長崎教区)・②中村倫明大司教(長崎教区)・③南野森さん(九州大学法学院教授)

日時 3/6(金)13:00~17:30①3/7(土)10:00~13:10③(ミサあり)

場所 サクラ ファミリア

参加費 両日参加 ¥2,500・3/6のみ ¥2,000・3/7のみ ¥1,500

主催・問 日本カテキスタ会

✉nckate@gmail.com

☎090-8119-4494

締切 2/28

講座◆小さくされた人々のための福音

日時 第3(金)10:00

場所 神戸学生青年センター

参加費 ¥1,000

主催 神戸国際支縁機構

問 岩村 ☎070-5045-7127

集い

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える

15~35歳までの若者の集い

日時 第2(土)14:00~16:00

場所 大阪YCWセンター

(またはZoom)

問 レネ神父・水元

☎072-232-8063

✉osakaycw@gmail.com

HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エッファタ！”

練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

日時 第2(日)19:00~21:00

場所 オンライン・パソコン使用

問 障がい者委員会

✉dis@ostk.catholic.jp

精神・発達症(障害)者自助

グループ◆オリーブの集い

守秘義務と分かれ合い

いつ来てもウェルカム

当日キャンセルOK

日時 第3(日)14:00~16:00

場所 姫里集会所

参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)

申込 吉川まで

問 ☎078-583-2525

✉yassan.yoshikawa@nifty.com

点訳ネット「レジナ」◆勉強会

対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方

日時・場所 奇数月 第2(火)13:30~15:00
姫里集会所

偶数月 第2(水)13:30~15:30
北須磨教会

申込 笠松まで

問 ☎090-5661-4324

☎072-722-0271

✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

聴覚障がい者ボランティア会◆聖書の手話表現の学び・教区活動の手話通訳者派遣

対象 手話に興味をお持ちの方

※手話講習会ではありません

日時 第1・3・5(水)10:00~14:00

場所 姫里集会所

問 障がい者委員会

✉dis@ostk.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い

◆大阪梅田教会

日時 第1(土)14:00

問 高塚 ☎06-6921-0693

◆加古川教会

日時 第3(火)13:00~14:30

問 森田 ☎079-426-5704

第4回 カトリック小学校フェア

参加校 アサンブション国際小学校・大阪信愛学院小学校・賢明学院小学校・香里ヌヴェール学院小学校・城星学園小学校・仁川学院小学校

日時 2/23(月・祝)10:30~14:00

場所 サクラ ファミリア

申込・問 力トリック小学校フェア実行委員会